

## クラスの様子【2月号】

### ●ひよこ組 今月の目標 身の周りのことを自分でしてみたいと思う気持ちを大切に。

寒い日が続く中、子どもたちは元気いっぱい遊んでいます。1月に入ってから月齢の大きい子はイスに座ってお盆から一人で給食を食べるという練習を始めました。手づかみしながらも、フォークやスプーンを使って食べようとしています。子ども達みんなの様子を見てると“自分で食べる”という喜びを感じ、楽しんで食べている姿がとても印象的です。また今まで好き嫌いをしていた子が自分で食べるようになり、苦手な野菜にも挑戦し完食できたという姿もありました。子ども達の“自分でする”“したい”という気持ちは成長する大きな大きな一歩になるんだと改めて感じました。子ども達のそういった気持ちを大切に、成長の手助けをしていきたいと思えます。また朝の身辺整理もできるだけお父さんと一緒にしていただきますようにご協力よろしくお願ひします。(ゆい)



### ●りす組(もも) 今月の目標 友だちとの関わりを楽しみながら過ごす。適切な援助を受けながら身の回りのことを自分でしようとする。

寒い日が続いていますが子どもたちは元気いっぱいです。屋外へ出ると「寒いね」とお友達とお話をしたり、雪がちらついている様子をお部屋から見て「雪ふつとる」と感じたことや見たことを言葉で伝え合う姿もありました。友達との関わりも増え、毎日登園してくる友達を「おはよう」と嬉しそうにみんなで出迎えに行っています。登園後の身辺整理では自分でかばんから荷物を出し、タオルをかけたりお帳面を出したりと、一生懸命に頑張っている姿もみられます。またお外へ行く時には、上着や帽子を自分で着られるように、まずは取り組む姿をゆっくりと見守っています。そして頑張ったその過程の気持ちに共感しながら援助をして、また次も頑張ってみようと思えるような関わりをしていきたいと思ひます。自分でやってみようと思ひ気持ちを大切に、必要に応じて援助をしていき、うさぎ組への移行に向けて子どもたちの自信へつなげて行きたいと思ひます。(鈴木)



### ●りす組(いちご) 今月の目標 日々の保育の中で、様々な活動を通してお友だちや保育者との関わりを深める。

新年を迎えた子どもたちは、ニコニコして笑顔いっぱいでの登園でした。「あけましておめでとう♪」のご挨拶ができたお友だちもいて、気持ちよく新しい一年のスタートをきることができました。「ばあば、じいじのお家いったの」など、楽しかったお話もたくさん聞かせてくれました。長いお休みから戻ってきた子どもたちは、また一段と大きく成長したように感じます。さて、1月は寒い日が続きましたが、お散歩に出かけると、そんな寒さも吹き飛ばしてしまうほど元気いっぱい走ったり、水たまりに張った氷をパリパリと割ってみたり、冬のお散歩を存分に楽しんでます。最近では、進級に向けてもクラスのお友だちとの交流をさらに増やし、お友達同士で関わる楽しさを実感している子どもたちです。そして身支度、排泄、食事、衣服の着脱などの基本的な生活習慣は、毎日の積み重ねが大切です。保育園だけでなく、ご家庭での練習も子どもたちにとってはとても重要となります。できた時はたくさん褒めてあげ、お子様のやる気を引き出してあげてください。そして、りすクラスとして過ごす日も残りわずかとなりました。子どもたちが毎日たくさん笑って思い思いに楽しく過ごせるよう心がけていきたいと思ひます。(真希)



### ●赤うさぎ組 今月の目標 幼児棟の雰囲気を楽しみながら、異年齢の子たちとの関わりを楽しむ。

寒い日が続きますが、子どもたちは元気に登園してきて“おはようございます”と大きな声で挨拶をして気持ちのいい毎日を送っています。朝の身辺整理の習慣も身につけ、年明けから始まったコップの使い方やうがいの練習にも意欲的に取り組んでいます。トイレでの排泄も定着しつつあり自分から行くこともあります。お家でもパンツでの生活が中心になってきたことを嬉しそうに教えてくれています。そうしたことが、子どもたちの自信へとつながり大きくなることに意識が高まり楽しみにしている様子が見られるようになってきました。少しずつ移行に向けて幼児棟のお部屋で遊んだり、大きい子たちのお集まりに参加させてもらったりして、新しい環境に無理のないようなじんできたいと思ひます。体調も崩しやすい時ですので体調管理に気をつけて元気に楽しく過ごしていきたいと思ひます。(矢下)



## クラスの様子【2月号】

●白うさぎ組 **今月の目標** 基本的な生活習慣を見直し、身の回りの事を自分で出来るようにする。

新しい年を迎え、いよいようさぎ組での生活も残り2ヶ月程となりました。今、クラスでは、年少さんへの進級に向けて基本的な生活習慣の見直しをしています。1月からうがいの練習を始め、最初は服が濡れたり、上手く出来なかった子もいましたが、練習をするうちに上手になってきました。又、給食では、自分で食べられる量を選んでトレイにのせて、席まで運んでいます。今は、こぼしてしまう事もありますが、小さな身体で一步步進みながらトレイを運んでいく姿がたくましく感じられます。主活動では、異年齢児クラスで遊んだり、お兄ちゃんお姉ちゃんと一緒に散歩に行く時間を取り入れています。自発的に年上の子と関わる子もいれば、初めての環境に戸惑いを感じている子もいます。でも、一人ひとりがその中で、色んな刺激を受けている事だと思います。うさぎ組のお部屋に戻ると、みんなお家に帰ったような、ホッとした表情になっています。このホッと安心できるうさぎ組の環境を大事にしながら、無理のないように、移行への準備を進めていきたいと思っています。(坂)



●とちのき組 **今月の目標** 生活習慣の見直しを行いながら、同年齢の友達との関わりの中で安心して楽しく過ごす。

お遊戯会も終わり、1月は異年齢クラスでゆっくりと過ごすことができました。天気も良い日が多く、園庭で遊んだり散歩に出掛けたりしてたくさん身体を動かしたり、自然物を手にとって好きなものに見立てて友達と一緒に一つのものを作ったりして楽しんでいました。年少・年中さんは年長さんの姿を見て、鉄棒や大縄、跳び箱などに挑戦したり、“お手伝いしたい！”と身のまわりのお手伝いをしようとしてくれる子が増えたように思います。これも異年齢クラスで過ごしてきたからこそこの姿だと感じ、嬉しく思いました。2月からは、年齢別での生活となります。個々を大切に見守りながら、進級に向けて生活習慣の見直しをしたり、毎日子ども達が“保育園って楽しい！”と思えるような温かい空間を作り、過ごしていきたいと思っています。また、友達と一緒にいることを楽しんだり、みんなの中の一人を体感できるような関わりをしていきたいと思っています。(三浦)



●くぬぎ組 **今月の目標** 進級に向け、自分で考えたり、周りを見て行動できるようにする。

4月から一緒に過ごしてきたくぬぎ組32名。初めは年少さんにどう接したら良いか分からなかった年長さんも、今では困っている子に気付くとサッと手を差し伸べてくれます。先日製作をしている時には、年長さん数人が「年少さんにやり方教えたる！」と自分たちから声をあげてくれました。部屋でカルタやカードゲームをしている年長さんに影響され、字を覚えたり、自分たちでルールを工夫して楽しむ年少さんの姿もあります。年中さんは年長さんへの憧れの気持ちが大きく、年長さんと同じように自由帳やワークを使うようになると嬉しそうにそして得意気にする姿がありました。日々子どもたちの関わりを見ていると、本当の“きょうだい”のようで、クラスでこのような関係が気付けたこと、とても嬉しく思います。2月からはそれぞれ就学、進級に向けた年齢別の活動が始まりますが、異年齢クラスでの友だちとの関わりや思い出を忘れずにいてくれたらいいなと思います。(黒宮)



●さくら組 **今月の目標** 年齢別になり、約束事や時間を守り、正しい姿勢で座れるようにする。

1月は異年齢での時間を大切にしながらゆったりと過ごすことができました。4月からさくらぐみとして異年齢で過ごし、友だちとのかかわりの中でたくさん感じることも増えました。苦手なことを頑張っている子がいれば、みんなで応援したり、できた時には一緒に喜んだり、困っている子には優しく声を掛け、助け合ったりとお互いに刺激し合いながらいい関係が築けたように感じます。

2月からは年齢別となり、年長児は就学前として小学校に向けての活動も増えていきます。椅子にきちんと座り、しっかり話が聞けるなど1年生になるための準備をしていきたいと思っています。(平塚)

